※令和４年度以降入学生用

学校番号	105

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「古典探究」古文編　（大修館書店） 「古典探究」漢文編　（大修館書店）						
副教材等	古文単語　覚えるぞ 321　（尚文出版） 学ぶぞ古典文法　（尚文出版）　学ぶぞ古典文法基礎練習ノート（尚文出版） 古文ノート用言編　改訂版　（桐原書店） 古文ノート助動詞編　改訂版　（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本の伝統的な言語文化である古文と漢文を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、自らのものの見方、感じ方、考え方を深めることを目指します。

多様な解釈の可能性を知り、自らの感性を磨き、深く共感したり豊かに想像したりすることを楽しみ、社会に出たときに、日本人としてのアイデンティティの保有者として活躍できるようになりましょう。

授業では、古典読解や古典常識を中心に教えます。積極的に取り組みましょう。

古典単語や古典文法は反復学習が基本です。家庭学習も怠らないようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めることができる。	・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方，感じ方、考え方を深めることができる。	・言葉がもつ価値への認 識を深めるとともに，生 涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	随筆を読む ［教材］・徒然草「今日はそのことをなさんと思へど」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観を理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査
	説話を読む ［教材］・今昔物語集[安倍晴明] ・「陰陽師」夢枕獏	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c：古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査
	物語を読む ［教材］ ・伊勢物語「初冠」 ・似勢物語「頬被り」	a：古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査
	随筆を読む ［教材］ ・枕草子「中納言参り給ひて」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、作者の価値観を理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査
2	物語を読む ［教材］ ・源氏物語「桐壺」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査
	故事・成語 ［教材］ ・「漱石沈流」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査

※令和４年度以降入学生用

		c:故事成語の内容や文化的背景に興味をもち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。			
	項王の最期 ［教材］ ・「四面皆楚歌す」	a::古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:時代背景や登場人物に興味をもち、各陣営の戦略や、人物の心情・行動を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査
	漢詩を読む ［教材］ ・「竹里館」王維 ・「登岳陽楼」杜甫	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:漢詩に興味をもち、作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査
3	本性を読む ［教材］ ・「不忍人之心」孟子 ・「人之性悪」荀子	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:漢詩に興味をもち、作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査
	物語を読む ［教材］ ・「不忍人之心」孟子 ・「人之性悪」荀子	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査
	物語を読む ［教材］ ・平家物語「忠度都落ち」	a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c:作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査

学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（10）時間

・書くこと　…　（10）時間

・読むこと　…　（50）時間